

# この人と吉野川

かずたか  
吉野川市広報サポーター・写真家 **阿部 和剛**さん

子どもたちが誇れるふるさとに。  
「美しい吉野川市」の魅力の世界へ発信!



↑ 岩の鼻展望台から望む吉野川の夕景  
(撮影/阿部和剛さん)

↓ 愛機の「レゴカメラ」は今では珍しい大判のフィルムカメラ。レゴブロックを使って手作りしました。お子さんがレゴで遊んでいるのを見て思いついたとか。海外のフォロワーに大人気



以来、この美しい風景を地域の子ども達に伝えていこうと、趣味の写真を通して活動することに。個展やグループ展、写真集、そして、フェイスブックやインスタグラムなどのSNS(Sソーシャル・ネットワーク・サービス)での

発信し続ける阿部さんです。料理人として「美しい吉野川市」を、写真家として「美しい吉野川市」を、「ほぼ使命」と思って(笑)、世界に向けて日々

吉野川市川島町で日本料理店を営む阿部和剛さん(43歳)は、フォロワー6600を超えるフェイスブック「美しい吉野川市」などで、故郷・吉野川市の魅力を発信するアマチュア写真家でもあります。川島高校卒業後、大阪で料理の修行をしていた頃、同僚や友人に「徳島つてどんなところ?」と聞かれる度に「何にもないよ」と答えていた阿部さん。修行を終えて帰郷し、初めて故郷の美しさに気がきました。以来、この美しい風景を地域の子ども達に

発信にも力を入れています。こうした活動に吉野川市も注目。令和3年(2021)に創設した「吉野川市広報サポーター」制度の第1号に、阿部さんを任命しました。5年程前から地域の人が所蔵する古写真の調査に取り組んでいます。吉野川を上り下りする帆掛け船、渡し舟、貨取り橋、潜水橋への変遷、豊かな吉野川の流れ……千枚近く集まった貴重な古写真を、歴史やエピソードも含めて、今と昔を撮り比べる形で写真集にまとめ、地域の子ども達に贈りたいと考えています。



幻想的な霧の川島潜水橋  
(撮影/阿部和剛さん)



↑ 善入寺島へ架かる潜水橋  
← 物資の運搬に使われていた平田舟(ひらたふね)

阿部和剛さんホームページ  
facebook ▶ 美しい吉野川市  
Instagram ▶ 美しい吉野川市 (@beautiful.yoshinogawacity)  
SNS、Youtubeなどで日々発信中!

## River Diary

R4

### 7/3 吉野川一斉清掃、3年ぶりに実施

「美しい吉野川をみんなの手で」——新型コロナの影響で令和元年以来、中止となっていた吉野川一斉清掃。3年ぶりに開催され、吉野川、旧吉野川、今切川など流域一帯で清掃活動が行われました。きれいになって川も輝いて見えました。

### 7/29~31 吉野川フェスティバルでPR

吉野川最大のイベント、「吉野川フェスティバル」も3年ぶりの開催。大勢の人が詰めかけ、吉野川のほとりで夏のひとときを楽しみました。吉野川交流推進会議ではブースを出展し、パネル展示、機関誌の配布などで活動をPR。子ども達にはヨーヨーとコマの色つけ体験を楽しんでもらいました。



### 10/29~ 「#吉野川サイコー」インスタフォトコンテスト受賞作品パネル展を開催

初のインスタフォトコンテスト受賞作品11点をパネル展で紹介。10月29日~11月6日のとくぎんトモニプラザを皮切りに、11月8日~21日には吉野川ハイウェイオアシス(東みよし町)、12月6日~16日には徳島県万代庁舎の「すだちくんテラス」で開催しました。

### 11/7~ 吉野川魅力発見パネル展を開催



吉野川が育んだ伝統文化や当会議の活動を紹介するパネル展を、11月7日~25日、道の駅 みまの里(美馬市)で開催しました。吉野川の竹を使った和傘は美馬市の特産品のひとつ。会場には和傘も飾られ、藍色を基調にしたパネルと良いコラボになりました。

R5

### 2/26 四季彩マラソンロードに蜂須賀桜を植樹

とくしまマラソンのコースである吉野川沿いを桜並木や四季折々の花で彩ろうという「四季彩マラソンロード」プロジェクト。今回は、生光学園付近の吉野川左岸堤防の蜂須賀桜4本を植え替えました。